

高圧ガス関係事故集計
(令和3年5月末現在)

令和3年8月

**表 1 高圧ガス事故統計集計表
(令和3年5月末現在)**

1. 年別及び月別事故 (累計) ^{〔注1〕}

年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
1月	101	122	76	78	53	70	74	68	51	60	50
2月	77	93	62	57	64	61	68	54	58	42	51
3月	167	65	79	62	78	87	63	60	55	38	42
4月	69	60	67	68	80	139	59	61	67	45	40
5月	67	75	64	67	61	81	70	65	61	45	37
6月	81	76	66	68	66	65	67	73	48	57	0
7月	79	112	66	58	70	78	88	173	67	48	0
8月	77	64	73	83	55	86	70	70	52	99	0
9月	150	70	61	54	50	64	56	62	56	48	0
10月	84	77	83	61	68	90	72	79	61	51	0
11月	75	76	76	70	56	69	69	59	62	57	0
12月	56	68	67	74	66	73	77	56	67	40	0
合計	1083	958	840	800	767	963	833	880	705	630	220
対前年比 ^{〔注2〕}	12.2	▲ 11.5	▲ 12.3	▲ 4.8	▲ 4.1	25.6	▲ 13.5	5.6	▲ 19.9	▲ 10.6	▲ 65.1

〔注1〕 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注2〕 対前年比の欄は、前年の合計に対する増減(%)を表す。

**表 1-1 高圧ガス事故統計集計表【災害】
(令和3年5月末現在)**

1. 年別及び月別事故 (累計) ^{〔注1〕}

年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
1月	42	32	32	21	24	47	45	52	49	56	48
2月	27	42	31	32	29	37	44	38	55	40	48
3月	105	26	31	32	46	47	42	44	49	36	38
4月	33	33	27	36	47	48	39	53	60	38	38
5月	33	41	32	32	41	61	46	63	58	42	34
6月	44	42	35	35	47	43	52	71	46	53	0
7月	41	41	37	31	49	55	59	102	60	42	0
8月	44	39	43	45	43	53	52	65	52	93	0
9月	33	34	22	35	20	52	42	55	50	43	0
10月	28	37	43	28	39	60	55	70	50	50	0
11月	38	35	37	30	44	43	48	54	59	52	0
12月	22	27	25	34	37	46	53	51	62	37	0
合計	490	429	395	391	466	592	577	718	650	582	206
対前年比 ^{〔注2〕}	20.7	▲ 12.4	▲ 7.9	▲ 1.0	19.2	27.0	▲ 2.5	24.4	▲ 9.5	▲ 10.5	▲ 64.6

〔注1〕 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

【災害】とは、高圧ガス保安法第63条第1項第1号に規定する場合をいう。

〔注2〕 対前年比の欄は、前年の合計に対する増減(%)を表す。

表 1 - 2 高圧ガス事故統計集計表【喪失・盗難】
(令和3年5月末現在)

1. 年別及び月別事故(累計) [注1]

年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
1月	59	90	44	57	29	23	29	16	2	4	2
2月	50	51	31	25	35	24	24	16	3	2	3
3月	62	39	48	30	32	40	21	16	6	2	4
4月	36	27	40	32	33	91	20	8	7	7	2
5月	34	34	32	35	20	20	24	2	3	3	3
6月	37	34	31	33	19	22	15	2	2	4	0
7月	38	71	29	27	21	23	29	71	7	6	0
8月	33	25	30	38	12	33	18	5	0	6	0
9月	117	36	39	19	30	12	14	7	6	5	0
10月	56	40	40	33	29	30	17	9	11	1	0
11月	37	41	39	40	12	26	21	5	3	5	0
12月	34	41	42	40	29	27	24	5	5	3	0
合計	593	529	445	409	301	371	256	162	55	48	14
対前年比 [注2]	6.1	▲ 10.8	▲ 15.9	▲ 8.1	▲ 26.4	23.3	▲ 31.0	▲ 36.7	▲ 66.0	▲ 12.7	▲ 70.8

[注1] 上欄は各月件数。下欄は各月累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

【喪失・盗難】とは、高圧ガス保安法第63条第1項第2号に規定する場合をいう。

[注2] 対前年比の欄は、前年の合計に対する増減(%)を表す。

表2 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)

(令和3年5月末現在)

区分		年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
製 造 事 業 所	冷 凍		274	271	328	301	(101) 252	(91)
	コンビナート		45	44	86	73	(28) 98	(29)
	L P		22	12	33	37	(6) 23	(5)
	一 般		138	145	168	160	(48) 126	(40)
	計		479	472	615	571	(183) 499	(165)
移 動			23	19	22	28	(7) 16	(11)
消 費			445	321	191	70	(24) 71	(32)
そ の 他			16	21	52	36	(16) 44	(12)
合 計			963	833	880	705	(230) 630	(220)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表2-1 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)【災害】

(令和3年5月末現在)

区分		年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
製 造 事 業 所	冷 凍		274	271	328	301	(101) 252	(91)
	コンビナート		45	44	86	73	(28) 98	(29)
	L P		20	11	28	37	(6) 23	(5)
	一 般		137	143	162	154	(48) 124	(40)
	計		476	469	604	565	(183) 497	(165)
移 動			23	18	20	26	(7) 15	(11)
消 費			80	73	74	44	(17) 55	(22)
そ の 他			13	17	20	15	(5) 15	(8)
合 計			592	577	718	650	(212) 582	(206)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表2-2 高圧ガス保安法関係事故件数の推移(最近6年間)【喪失・盗難】

(令和3年5月末現在)

区分		年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
製 造 事 業 所	冷 凍		0	0	0	0	(0) 0	(0)
	コンビナート		0	0	0	0	(0) 0	(0)
	L P		2	1	5	0	(0) 0	(0)
	一 般		1	2	6	6	(0) 2	(0)
	計		3	3	11	6	(0) 2	(0)
移 動			0	1	2	2	(0) 1	(0)
消 費			365	248	117	26	(7) 16	(10)
そ の 他			3	4	32	21	(11) 29	(4)
合 計			371	256	162	55	(18) 48	(14)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）

（令和3年5月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計	
令和3年	(7)	(10)	(12)	(29)	(38)	(6)	(6)	(16)	(12)	(2)	(80)	(0)	(3)	(2)	(5)	(21)	(1)	(22)	(3)	(7)	(71)	(3)	(84)	(220)
令和2年	(11) 21	(11) 46	(10) 26	(32) 93	(39) 103	(11) 22	(16) 36	(11) 43	(13) 29	(4) 14	(94) 247	(0) 0	(5) 13	(1) 1	(6) 14	(14) 45	(4) 6	(18) 51	(0) 3	(1) 2	(70) 205	(9) 15	(80) 225	(230) 630
令和1年	25	27	35	87	155	13	35	48	36	10	297	3	7	2	12	58	9	67	13	13	198	18	242	705
平成30年	37	68	45	150	124	19	35	47	52	13	290	4	10	0	14	59	15	74	89	20	179	64	352	880
平成29年	29	23	43	95	113	29	30	56	41	8	277	0	8	3	11	38	3	41	23	19	162	205	409	833
平成28年	31	15	34	80	109	20	42	60	49	10	290	1	13	1	15	43	9	52	84	22	154	266	526	963

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3-1 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（令和3年5月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計	
令和3年	(7)	(10)	(12)	(29)	(38)	(6)	(6)	(16)	(12)	(2)	(80)	(0)	(3)	(2)	(5)	(21)	(1)	(22)	(3)	(7)	(60)	(0)	(70)	(206)
令和2年	(11) 21	(11) 46	(10) 26	(32) 93	(39) 103	(11) 22	(16) 36	(11) 43	(13) 29	(4) 14	(94) 247	(0) 0	(5) 13	(1) 1	(6) 14	(14) 45	(4) 6	(18) 51	(0) 2	(1) 2	(61) 173	(0) 0	(62) 177	(212) 582
令和1年	25	27	35	87	155	13	35	48	36	10	297	3	7	2	12	58	9	67	3	13	171	0	187	650
平成30年	37	68	45	150	124	19	35	47	52	13	290	4	10	0	14	59	15	74	17	20	153	0	190	718
平成29年	29	23	43	95	113	29	30	56	41	8	277	0	8	3	11	38	3	41	3	19	131	0	153	577
平成28年	31	15	34	80	109	20	42	60	49	10	290	1	13	1	15	43	9	52	8	22	125	0	155	592

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表3-2 高圧ガス事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（令和3年5月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計	
令和3年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(11)	(3)	(14)	(14)
令和2年	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(9) 32	(9) 15	(18) 48	(18) 48
令和1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	27	18	55	55
平成30年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72	0	26	64	162	162
平成29年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	31	205	256	256
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76	0	29	266	371	371

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 4 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)

(令和3年5月末現在)

業種 年	石油 精製		石油 化学		一般 化学		冷凍 事業所		充填所		容器 検査所		その他		合計
令和3年	(12)		(9)		(10)		(91)		(0)		(0)		(43)		(165)
令和2年	(9)	30	(10)	24	(7)	48	(101)	252	(0)	2	(0)	0	(56)	143	(183) 499
令和1年		37		22		28		301		3		0		180	571
平成30年		39		32		41		328		24		1		150	615
平成29年		22		12		34		271		9		1		123	472
平成28年		19		11		37		274		13		2		123	479

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 4-1 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)【災害】

(令和3年5月末現在)

業種 年	石油 精製		石油 化学		一般 化学		冷凍 事業所		充填所		容器 検査所		その他		合計
令和3年	(12)		(9)		(10)		(91)		(0)		(0)		(43)		(165)
令和2年	(9)	30	(10)	24	(7)	48	(101)	252	(0)	2	(0)	0	(56)	141	(183) 497
令和1年		37		22		28		301		2		0		175	565
平成30年		39		32		41		328		17		1		146	604
平成29年		22		12		34		271		9		1		120	469
平成28年		19		11		37		274		11		2		122	476

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 4-2 製造事業所の業種別事故件数(最近6年間)【喪失・盗難】

(令和3年5月末現在)

業種 年	石油 精製		石油 化学		一般 化学		冷凍 事業所		充填所		容器 検査所		その他		合計
令和3年	(0)		(0)		(0)		(0)		(0)		(0)		(0)		(0)
令和2年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	2	(0) 2
令和1年		0		0		0		0		1		0		5	6
平成30年		0		0		0		0		7		0		4	11
平成29年		0		0		0		0		0		0		3	3
平成28年		0		0		0		0		2		0		1	3

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表5 製造事業所事故の原因別による分析（最近6年間）

（令和3年5月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計	
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計
令和3年	(7)	(10)	(12)	(29)	(38)	(5)	(4)	(13)	(12)	(0)	(72)	(0)	(1)	(2)	(3)	(11)	(0)	(11)	(3)	(0)	(47)	(0)	(50)	(165)
令和2年	(11) 21	(10) 45	(8) 23	(29) 89	(37) 98	(11) 22	(13) 28	(11) 40	(12) 27	(2) 2	(86) 217	(0) 0	(2) 8	(1) 1	(3) 9	(8) 28	(4) 4	(12) 32	(0) 2	(0) 0	(53) 150	(0) 0	(53) 152	(183) 499
令和1年	24	27	34	85	153	13	31	44	36	1	278	3	5	2	10	39	4	43	4	2	144	5	155	571
平成30年	36	67	45	148	121	19	25	40	51	3	259	3	7	0	10	41	3	44	17	1	136	0	154	615
平成29年	28	22	41	91	112	25	25	48	39	3	252	0	6	3	9	21	0	21	1	2	94	2	99	472
平成28年	30	15	34	79	108	19	35	58	47	2	269	0	6	0	6	23	2	25	8	0	91	1	100	479

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表5-1 製造事業所事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（令和3年5月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計	
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計
令和3年	(7)	(10)	(12)	(29)	(38)	(5)	(4)	(13)	(12)	(0)	(72)	(0)	(1)	(2)	(3)	(11)	(0)	(11)	(3)	(0)	(47)	(0)	(50)	(165)
令和2年	(11) 21	(10) 45	(8) 23	(29) 89	(37) 98	(11) 22	(13) 28	(11) 40	(12) 27	(2) 2	(86) 217	(0) 0	(2) 8	(1) 1	(3) 9	(8) 28	(4) 4	(12) 32	(0) 2	(0) 0	(53) 148	(0) 0	(53) 150	(183) 497
令和1年	24	27	34	85	153	13	31	44	36	1	278	3	5	2	10	39	4	43	3	2	144	0	149	565
平成30年	36	67	45	148	121	19	25	40	51	3	259	3	7	0	10	41	3	44	11	1	131	0	143	604
平成29年	28	22	41	91	112	25	25	48	39	3	252	0	6	3	9	21	0	21	1	2	93	0	96	469
平成28年	30	15	34	79	108	19	35	58	47	2	269	0	6	0	6	23	2	25	7	0	90	0	97	476

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表5-2 製造事業所事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（令和3年5月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他				合計	
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難		計
令和3年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
令和2年	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 2	(0) 0	(0) 2	(0) 2
令和1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	6	6
平成30年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	5	0	11	11
平成29年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	3
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3	3

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表6 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)

(令和3年5月末現在)

種類 年	LPガス	アセチレン	その他の ガス	合計
令和3年	(7)	(0)	(4)	(11)
令和2年	(3) 6	(0) 0	(4) 10	(7) 16
令和1年	13	1	14	28
平成30年	8	4	10	22
平成29年	7	1	11	19
平成28年	19	1	3	23

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表6-1 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)【災害】

(令和3年5月末現在)

種類 年	LPガス	アセチレン	その他の ガス	合計
令和3年	(7)	(0)	(4)	(11)
令和2年	(3) 6	(0) 0	(4) 9	(7) 15
令和1年	13	1	12	26
平成30年	8	2	10	20
平成29年	6	1	11	18
平成28年	19	1	3	23

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表6-2 移動中事故の物質名による分析(最近6年間)【喪失・盗難】

(令和3年5月末現在)

種類 年	LPガス	アセチレン	その他の ガス	合計
令和3年	(0)	(0)	(0)	(0)
令和2年	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(0) 1
令和1年	0	0	2	2
平成30年	0	2	0	2
平成29年	1	0	0	1
平成28年	0	0	0	0

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）

(令和3年5月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計														
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計															
令和3年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(2)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(0)	(7)	(0)	(0)	(7)	(11)														
令和2年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(2)	2	(0)	0	(2)	6	(4)	8	(0)	0	(1)	1	(0)	0	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(0)	0	(1)	2	(0)	4	(0)	0	(1)	6	(7)	16
令和1年	0	0	1	1	0	0	2	0	0	3	5	0	0	0	0	4	1	5	0	6	10	1	17	28														
平成30年	0	1	0	1	0	0	2	0	0	3	5	0	0	0	3	1	4	0	8	4	0	12	22															
平成29年	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	2	0	2	0	6	6	0	12	19														
平成28年	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	5	0	1	0	1	5	1	6	0	10	1	0	11	23														

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7-1 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

(令和3年5月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計																		
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計																			
令和3年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(2)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(0)	(7)	(0)	(0)	(7)	(11)																		
令和2年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(2)	2	(0)	0	(2)	6	(4)	8	(0)	0	(1)	1	(0)	0	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(0)	0	(1)	1	(0)	0	(1)	2	(0)	3	(0)	0	(1)	5	(7)	15
令和1年	0	0	1	1	0	0	2	0	0	3	5	0	0	0	0	4	1	5	0	6	9	0	15	26																		
平成30年	0	1	0	1	0	0	2	0	0	3	5	0	0	0	3	1	4	0	8	2	0	10	20																			
平成29年	0	1	1	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	2	0	2	0	6	5	0	11	18																		
平成28年	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	5	0	1	0	1	5	1	6	0	10	1	0	11	23																		

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表7-2 移動中事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

(令和3年5月末現在)

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計		
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計			
令和3年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		
令和2年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(0)	1	(0)	1
令和1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2		
平成30年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2		
平成29年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1		
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表 8 消費先事故の物質名による分析(最近 6 年間)

(令和3年5月末現在)

種類 年	アセチ レン	L P ガ ス	塩 素	酸 素	特殊高 圧ガス	その他	合 計
令和3年	(5)	(5)	(2)	(7)	(1)	(12)	(32)
令和2年	(7) 22	(7) 15	(1) 1	(2) 7	(0) 1	(7) 25	(24) 71
令和1年	18	31	0	6	0	15	70
平成30年	20	109	1	17	1	43	191
平成29年	28	258	1	12	0	22	321
平成28年	34	376	1	13	1	20	445

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガス容器が喪失又は盗まれた場合は、アセチレン容器が喪失又は盗まれたものとして計上している。

表 8-1 消費先事故の物質名による分析(最近 6 年間)【災害】

(令和3年5月末現在)

種類 年	アセチ レン	L P ガ ス	塩 素	酸 素	特殊高 圧ガス	その他	合 計
令和3年	(3)	(4)	(2)	(4)	(1)	(8)	(22)
令和2年	(5) 18	(4) 9	(1) 1	(2) 6	(0) 1	(5) 20	(17) 55
令和1年	10	21	0	3	0	10	44
平成30年	11	33	1	9	1	19	74
平成29年	13	40	1	4	0	15	73
平成28年	16	41	1	7	1	14	80

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガスによる災害の場合は、アセチレンによる災害としている。

表 8-2 消費先事故の物質名による分析(最近 6 年間)【喪失・盗難】

(令和3年5月末現在)

種類 年	アセチ レン	L P ガ ス	塩 素	酸 素	特殊高 圧ガス	その他	合 計
令和3年	(2)	(1)	(0)	(3)	(0)	(4)	(10)
令和2年	(2) 4	(3) 6	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(2) 5	(7) 16
令和1年	8	10	0	3	0	5	26
平成30年	9	76	0	8	0	24	117
平成29年	15	218	0	8	0	7	248
平成28年	18	335	0	6	0	6	365

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕アセチレンとそれ以外のガス容器が喪失又は盗まれた場合は、アセチレン容器が喪失又は盗まれたものとして計上している。

表9 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）

（令和3年5月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計																								
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計																									
令和3年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(3)	(0)	(1)	(5)	(0)	(1)	(0)	(1)	(7)	(1)	(8)	(0)	(0)	(13)	(5)	(18)	(32)																								
令和2年	(0)	0	(1)	1	(2)	2	(3)	3	(2)	5	(0)	0	(1)	5	(0)	3	(1)	2	(0)	3	(4)	18	(0)	0	(2)	4	(0)	0	(2)	4	(4)	14	(0)	1	(4)	15	(0)	0	(0)	0	(8)	28	(3)	3	(11)	31	(24)	71
令和1年	0	0	0	0	1	0	2	3	0	3	9	0	1	0	1	10	3	13	7	4	28	8	47	70																								
平成30年	1	0	0	1	1	0	7	7	1	2	18	0	2	0	2	11	9	20	50	11	32	57	150	191																								
平成29年	1	0	1	2	1	4	4	7	2	0	18	0	1	0	1	12	1	13	22	11	52	202	287	321																								
平成28年	1	0	0	1	1	1	5	1	1	4	13	1	6	1	8	14	6	20	76	12	51	264	403	445																								

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表9-1 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）【災害】

（令和3年5月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計																				
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計																					
令和3年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(3)	(0)	(1)	(5)	(0)	(1)	(0)	(1)	(7)	(1)	(8)	(0)	(0)	(8)	(0)	(8)	(22)																				
令和2年	(0)	0	(1)	1	(2)	2	(3)	3	(2)	5	(0)	0	(1)	5	(0)	3	(1)	2	(0)	3	(4)	18	(0)	0	(2)	4	(0)	0	(2)	4	(4)	14	(0)	1	(4)	15	(0)	0	(4)	15	(4)	15	(17)	55
令和1年	0	0	0	0	1	0	2	3	0	3	9	0	1	0	1	10	3	13	0	4	17	0	21	44																				
平成30年	1	0	0	1	1	0	7	7	1	2	18	0	2	0	2	11	9	20	5	11	17	0	33	74																				
平成29年	1	0	1	2	1	4	4	7	2	0	18	0	1	0	1	12	1	13	2	11	26	0	39	73																				
平成28年	1	0	0	1	1	1	5	1	1	4	13	1	6	1	8	14	6	20	1	12	25	0	38	80																				

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表9-2 消費先事故の原因別による分析（最近6年間）【喪失・盗難】

（令和3年5月末現在）

区分 年	設備の設計、製作の不良				設備の維持管理の不良							組織体制の不良				ヒューマンファクター			その他					合計				
	設計不良	製作不良	施工管理不良	計	腐食管理不良	検査管理不良	点検不良	締結管理不良	シール管理不良	容器管理不良	計	組織運営不良	操作基準等の不備	情報伝達の不備	計	誤操作・誤判断	不良行為	計	自然災害	交通事故	その他	盗難	計					
令和3年	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(5)	(5)	(10)	(10)				
令和2年	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(4)	13	(3)	3	(7)	16	(7)	16
令和1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	11	8	26	26				
平成30年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	0	15	57	117	117				
平成29年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	26	202	248	248				
平成28年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	0	26	264	365	365				

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表10 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)

(令和3年5月末現在)

取扱状態 年	ごみ 処理中	容器等の くず化	放 置 容 器	その他	合 計
令和3年	(0)	(0)	(0)	(12)	(12)
令和2年	(0) 0	(0) 0	(0) 2	(16) 42	(16) 44
令和1年	0	0	1	35	36
平成30年	0	3	0	49	52
平成29年	0	3	1	17	21
平成28年	0	1	1	14	16

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表10-1 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)【災害】

(令和3年5月末現在)

取扱状態 年	ごみ 処理中	容器等の くず化	放 置 容 器	その他	合 計
令和3年	(0)	(0)	(0)	(8)	(8)
令和2年	(0) 0	(0) 0	(0) 2	(5) 13	(5) 15
令和1年	0	0	1	14	15
平成30年	0	3	0	17	20
平成29年	0	3	1	13	17
平成28年	0	1	1	11	13

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表10-2 製造事業所、移動中、消費に係る事故以外の事故の取扱状態による分析(最近6年間)【喪失・盗難】

(令和3年5月末現在)

取扱状態 年	ごみ 処理中	容器等の くず化	放 置 容 器	その他	合 計
令和3年		(0)		(4)	(4)
令和2年		(0) 0		(11) 29	(11) 29
令和1年		0		21	21
平成30年		0		32	32
平成29年		0		4	4
平成28年		0		3	3

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11 現象別区分による分析(最近6年間)

(令和3年5月末現在)

年 現象	平成28年			平成29年			平成30年			令和1年			令和2年			令和3年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
爆 発	7	0	6	4	0	4	6	0	4	6	0	6	(2) 4	(0) 0	(3) 3	(2)	(1)	(2)
火 災	10	0	2	5	0	4	13	0	4	21	1	9	(8) 18	(0) 0	(3) 9	(7)	(0)	(2)
噴出漏洩	549	1	35	551	1	34	666	0	44	564	1	36	(185) 514	(0) 1	(9) 34	(182)	(6)	(32)
破裂・破壊	17	1	8	10	0	2	17	0	2	39	0	4	(12) 31	(1) 1	(1) 5	(10)	(0)	(2)
そ の 他	380	2	0	263	0	2	178	0	12	75	0	7	(23) 63	(1) 1	(0) 2	(19)	(0)	(1)
合 計	963	4	51	833	1	46	880	0	66	705	2	62	(230) 630	(2) 3	(16) 53	(220)	(7)	(39)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11-1 現象別区分による分析(最近6年間)【災害】

(令和3年5月末現在)

年 現象	平成28年			平成29年			平成30年			令和1年			令和2年			令和3年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
爆 発	7	0	6	4	0	4	6	0	4	6	0	6	(2) 4	(0) 0	(3) 3	(2)	(1)	(2)
火 災	10	0	2	5	0	4	13	0	4	21	1	9	(8) 18	(0) 0	(3) 9	(7)	(0)	(2)
噴出漏洩	549	1	35	551	1	34	666	0	44	564	1	36	(185) 514	(0) 1	(9) 34	(182)	(6)	(32)
破裂・破壊	17	1	8	10	0	2	17	0	2	39	0	4	(12) 31	(1) 1	(1) 5	(10)	(0)	(2)
そ の 他	9	2	0	7	0	2	16	0	12	20	0	7	(5) 15	(1) 1	(0) 2	(5)	(0)	(1)
合 計	592	4	51	577	1	46	718	0	66	650	2	62	(212) 582	(2) 3	(16) 53	(206)	(7)	(39)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表11-2 現象別区分による分析(最近6年間)【喪失・盗難】

(令和3年5月末現在)

年 現象	平成28年			平成29年			平成30年			令和1年			令和2年			令和3年		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
爆 発																		
火 災																		
噴出漏洩																		
破裂・破壊																		
そ の 他	371	0	0	256	0	0	162	0	0	55	0	0	(18) 48	(0) 0	(0) 0	(14)	(0)	(0)
合 計	371	0	0	256	0	0	162	0	0	55	0	0	(18) 48	(0) 0	(0) 0	(14)	(0)	(0)

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表11 現象別区分による分析（最近6年間）

(令和3年5月末現在)

年 現象	平成28年			平成29年			平成30年			令和1年			令和2年			令和3年			
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	
爆 発	7	0	6	4	0	4	6	0	4	6	0	6	(2) 4	(0) 0	(3) 3	(2)	(1)	(2)	
火 災	10	0	2	5	0	4	13	0	4	21	1	9	(8) 18	(0) 0	(3) 9	(7)	(0)	(2)	
漏 え い	漏えい①	247	0	2	278	0	4	348	0	13	349	0	15	(125) 337	(0) 1	(3) 19	(93)	(0)	(0)
	漏えい②	186	0	18	165	0	10	208	0	11	130	0	7	(40) 125	(0) 0	(3) 8	(44)	(0)	(4)
	漏えい③	116	1	15	108	1	20	110	0	20	85	1	14	(20) 52	(0) 0	(3) 7	(45)	(6)	(28)
計	549	1	35	551	1	34	666	0	44	564	1	36	(185) 514	(0) 1	(9) 34	(182)	(6)	(32)	
破裂・破壊	17	1	8	10	0	2	17	0	2	39	0	4	(12) 31	(1) 1	(1) 5	(10)	(0)	(2)	
その他	380	2	0	263	0	2	178	0	12	75	0	7	(23) 63	(1) 1	(0) 2	(19)	(0)	(1)	
合 計	963	4	51	833	1	46	880	0	66	705	2	62	(230) 630	(2) 3	(16) 53	(220)	(7)	(39)	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕漏えい①とは、機器、配管等の本体（溶接部を含む。）からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい②とは、締結部、開閉部又は可動シール部からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい③とは、噴出・漏えい①又は噴出・漏えい②以外の噴出・漏えいをいう。

別表11-1 現象別区分による分析（最近6年間）【災害】

(令和3年5月末現在)

年 現象	平成28年			平成29年			平成30年			令和1年			令和2年			令和3年			
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	
爆 発	7	0	6	4	0	4	6	0	4	6	0	6	(2) 4	(0) 0	(3) 3	(2)	(1)	(2)	
火 災	10	0	2	5	0	4	13	0	4	21	1	9	(8) 18	(0) 0	(3) 9	(7)	(0)	(2)	
漏 え い	漏えい①	247	0	2	278	0	4	348	0	13	349	0	15	(125) 337	(0) 1	(3) 19	(93)	(0)	(0)
	漏えい②	186	0	18	165	0	10	208	0	11	130	0	7	(40) 125	(0) 0	(3) 8	(44)	(0)	(4)
	漏えい③	116	1	15	108	1	20	110	0	20	85	1	14	(20) 52	(0) 0	(3) 7	(45)	(6)	(28)
計	549	1	35	551	1	34	666	0	44	564	1	36	(185) 514	(0) 1	(9) 34	(182)	(6)	(32)	
破裂・破壊	17	1	8	10	0	2	17	0	2	39	0	4	(12) 31	(1) 1	(1) 5	(10)	(0)	(2)	
その他	9	2	0	7	0	2	16	0	12	20	0	7	(5) 15	(1) 1	(0) 2	(5)	(0)	(1)	
合 計	592	4	51	577	1	46	718	0	66	650	2	62	(212) 582	(2) 3	(16) 53	(206)	(7)	(39)	

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

〔注〕漏えい①とは、機器、配管等の本体（溶接部を含む。）からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい②とは、締結部、開閉部又は可動シール部からの噴出・漏えいをいう。

〔注〕漏えい③とは、噴出・漏えい①又は噴出・漏えい②以外の噴出・漏えいをいう。

表12 人的被害の推移(最近6年間)

(令和3年5月末現在)

区分 年	人身事 故件数	死 亡 (名)	重 傷 (名)	軽 傷 (名)	死傷者 合 計
令和3年	(18)	(7)	(8)	(31)	(46)
令和2年	(15) 38	(2) 3	(4) 13	(12) 40	(18) 56
令和1年	44	2	13	49	64
平成30年	45	0	11	55	66
平成29年	37	1	9	37	47
平成28年	40	4	7	44	55

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表13 事故等級別事故発生件数(最近6年間)
(令和3年5月末現在)

年 級	A級		B級		C級		合 計	
令和3年	(0)		(9)		(211)		(220)	
令和2年	(0)	0	(5)	34	(225)	596	(230)	630
令和1年		0		23		682		705
平成30年		0		23		857		880
平成29年		0		19		814		833
平成28年		0		22		941		963

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表13-1 事故等級別事故発生件数(最近6年間)【災害】
(令和3年5月末現在)

年 級	A級		B級		C級		合 計	
令和3年	(0)		(9)		(197)		(206)	
令和2年	(0)	0	(5)	34	(207)	548	(212)	582
令和1年		0		23		627		650
平成30年		0		23		695		718
平成29年		0		19		558		577
平成28年		0		22		570		592

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

表13-2 事故等級別事故発生件数(最近6年間)【喪失・盗難】
(令和3年5月末現在)

年 級	A級		B級		C級		合 計	
令和3年	(0)		(0)		(14)		(14)	
令和2年	(0)	0	(0)	0	(18)	48	(18)	48
令和1年		0		0		55		55
平成30年		0		0		162		162
平成29年		0		0		256		256
平成28年		0		0		371		371

[注] 括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表13 事故等級別事故発生件数

(令和3年5月末現在)

年 \ 級	A級	B級		C級			合 計
		B 1 級	B 2 級	C 級	C 1 級	C 2 級	
令和3年	(0)	(4)	(5)		(32)	(179)	(220)
令和2年	(0) 0	(2) 3	(3) 31		(33) 87	(192) 509	(230) 630
令和1年	0	3	20		115	567	705
平成30年	0	2	21		117	740	880
平成29年	0	2	17		105	709	833
平成28年	0	6	16		109	832	963

※1 B 1 級事故は、B 級事故から B 2 級事故を除いたもの。B 2 級事故は、同一事業所において事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 級事故（平成 2 8 年以降は、同一事業所において A 級事故、B 級事故又は C 1 級事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 1 級事故）。

※2 C 1 級事故は、C 級事故のうち人的被害がある事故、爆発、火災、破裂・破損が発生した事故、毒ガスが漏えいした事故、反応暴走に起因する事故、多量漏えいが発生した事故。C 2 級事故は、C 級事故から C 1 級事故を除いたもの。
C 級事故 = C 1 級事故 + C 2 級事故

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。

別表13-1 事故等級別事故発生件数【災害】

(令和3年5月末現在)

年 \ 級	A級	B級		C級			合 計
		B 1 級	B 2 級	C 級	C 1 級	C 2 級	
令和3年	(0)	(4)	(5)		(32)	(165)	(206)
令和2年	(0) 0	(2) 3	(3) 31		(33) 87	(174) 461	(212) 582
令和1年	0	3	20		115	512	650
平成30年	0	2	21		117	578	718
平成29年	0	2	17		105	453	577
平成28年	0	6	16		109	461	592

※1 B 1 級事故は、B 級事故から B 2 級事故を除いたもの。B 2 級事故は、同一事業所において事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 級事故（平成 2 8 年以降は、同一事業所において A 級事故、B 級事故又は C 1 級事故が発生した日から 1 年を経過しない間に発生した C 1 級事故）。

※2 C 1 級事故は、C 級事故のうち人的被害がある事故、爆発、火災、破裂・破損が発生した事故、毒ガスが漏えいした事故、反応暴走に起因する事故、多量漏えいが発生した事故。C 2 級事故は、C 級事故から C 1 級事故を除いたもの。
C 級事故 = C 1 級事故 + C 2 級事故

〔注〕括弧内は集計月までの累計件数。速報値のため、変更等があり得る。